

責争

(第三種郵便物認可)

悪路なんの「凄バス」披露

災害現場や山間部などの悪路走行に強みを持つ四輪駆動バスの内覧会が18日、静岡市役所静岡庁舎で開かれた。開発した深沢自動車修理工場(清水区)の深沢昌弘社長(48)が市職員や市議に性能をアピールした。

清水区の修理工場開発

お披露目したのは「凄(すご)長」と、3年がかりで完成にこぎ着けた。部品を「(すご)バス4×4(フオーバイフオー)」。日豪州から調達したり、自野自動車のマイクロバスを改造し、常時四輪駆動で走行できるようにした。2017年には県経た。ぬかるみや山道などの悪路でも走破性に優れた。定員は最大28人。全国

で自然災害が相次ぐ中、被災地への人員輸送や人命救助のほか、避難所とや災害現場の復旧に役立しての活用も見込む。内装は用途に応じてカスタ

四輪駆動 災害現場や山間部で強み



災害現場などでの活用を見込む「凄バス4×4」＝静岡市役所静岡庁舎

マイズが可能。キッチンやベッドを備えたキャンピングカー、移動店舗車などとしても利用でき

る。現時点で導入実績はないが、自治体や一般企業などに幅広く提案していく。

この日は自民党市議団

(石上頭太郎会長)によ

る試乗体験会も実施し

た。

(政治部・森田憲吾)